

2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 栄 電 子
代表者名 代表取締役社長 津田 百子
(東証スタンダード・コード 7 5 6 7)
問合せ先
役職・氏名 取締役 大久保 雅文
電話 0 3 - 6 3 8 5 - 7 2 4 0

2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ 2026 年 5 月 14 日に公表いたしました 2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)および通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期(中間期)連結業績予想の修正 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間期純利益	1 株当たり 中間期純利益
前回予想値 (A)	百万円 4,500	百万円 71	百万円 85	百万円 55	円 銭 10.94
今回予想値 (B)	5,361	244	257	151	29.81
増減額 (B - A)	861	172	171	95	—
増減率 (%)	19.2	240.9	200.2	172.4	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2027 年 3 月期第 2 四半期)	3,367	32	46	42	8.30

2. 2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想値 (A)	百万円 9,000	百万円 176	百万円 196	百万円 130	円 銭 25.62
今回予想値 (B)	10,071	333	351	203	40.03
増減額 (B - A)	1,071	156	154	73	—
増減率 (%)	11.9	88.5	78.6	56.2	—
(ご参考) 前期連結実績 (2027 年 3 月期)	7,330	139	154	113	22.42

3. 修正の理由

売上高につきましては、主要顧客における在庫調整の進展や生成 AI 関連需要の拡大を背景に、前第 4 四半期以降の受注回復傾向が足元でも当初想定を上回って推移したことから、中間期の連結売上高は前回公表予想を上回る見通しとなりました。

利益面につきましても、増収効果や高付加価値商材の伸長に加え、一部費用の計上開始時期が当初計画より後ろ倒しとなったことから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は前回公表予想を大幅に上回る見込みであります。

通期業績予想につきましては、これら中間期の修正要因を反映し、売上高および各段階利益を上方修正いたします。なお、下半期以降の受注動向については、地政学リスクや部材需給の変動など先行

き不透明な要因を考慮し、足元の状況変化を一部織り込みつつ、概ね期初計画に沿って算定しております。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合がございます。

以上